

## 令和7年度 当初予算関連資料

令和7年度当初予算のポイント・主要事業  
(環境生活部関係)

令和7年3月

環境生活部



## 【予算調製にあたっての基本的な考え方】

環境生活部では、次の4つの方向性を柱として、選択と集中により調製しました。

- ・性暴力のない三重県の実現に向けた気運を醸成するとともに、県民の皆さんとの連携による交通事故の防止、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援の推進、災害ボランティア受入れ体制の強化に取り組み、くらしの安全・安心の実感を高めます。
- ・県民一人ひとりが互いの人権を尊重するとともに、性別や国籍等にかかわらず、誰もが希望を持って挑戦、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けた取組を進めます。
- ・県民一人ひとりが自主性と創造性を発揮し、郷土への誇りと愛着を育みながら、生きがいと心の豊かさを実感できるよう、文化にふれ親しむ環境やさまざまな学習機会の充実を図ります。
- ・地球温暖化対策（緩和と適応）、大気・水環境の保全、廃棄物の3R＋Rと適正処理の推進を通じて、環境への負荷が少ない持続可能な社会をめざします。

このような方向性をふまえ、令和7年度当初予算においては、「誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり」「人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり」「文化と生涯学習の振興」「2050年カーボンニュートラルの実現」「持続可能な循環型社会の構築」「『きれいで豊かな海』の実現と良好な生活環境の保全」について重点的に取り組みます。

### (1) 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

制定に向けて準備を進めている「三重県性暴力の根絶をめざす条例（仮称）」の周知・啓発を行い、性暴力被害者等支援及び性暴力被害防止に対する県民の皆さんの理解促進や、性暴力の根絶に向けた気運醸成を図るとともに、「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」において、引き続き、相談、付き添い支援に取り組めます。

また、県民の皆さんとの連携により、交通事故の防止や消費生活の安全確保、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援、災害ボランティア受入れ体制の強化に取り組み、くらしの安全・安心を推進します。

### (2) 人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に基づき相談体制を充実させるとともに、人権啓発やインターネット上の人権侵害対策を講じるなど総合的な対策を推進します。

また、ジェンダーギャップを解消し、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる職場環境に向けて取り組むとともに、外国人が安心して生活できる地域社会の実現に向けて「三重県多文化共生推進計画」に基づき、相談対応や日本語学習の機会の提供を進めます。

### (3) 文化と生涯学習の振興

「三重県文化振興計画」に基づき、文化の力で心豊かに活力ある三重の実現に向け、着実に施策を推進します。また、県総合博物館（M i e M u）、県立美術館、斎宮歴史博物館や県総合文化センターでは、子どもから大人まで楽しめる企画展等を開催するとともに、県立図書館では電子書籍を導入するなど、県民の皆さんにより良い図書館サービスを提供します。

#### (4) 2050年カーボンニュートラルの実現

カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る取組の展開やその定着を図る「みえデコ活」等の気候変動の緩和、市町と連携した熱中症対策等の気候変動適応の取組を進めます。また、県環境学習情報センターの展示設備のリニューアルを進めるなど環境教育・環境学習を推進するとともに、再生可能エネルギーの導入等が環境に配慮して行われるよう環境影響評価制度を適切に運用し、さまざまな主体による環境配慮の取組を促進します。

#### (5) 持続可能な循環型社会の構築

持続可能な循環型社会の構築に向け、市町、事業者、NPO等のさまざまな主体とのパートナーシップを強化し、新たな知見や技術を積極的に活用することにより、廃棄物処理の安全・安心の確保を前提としつつ、循環関連産業の振興を通じ、脱炭素化や地域課題の解決にもつながる資源循環の取組を促進するとともに、令和6年能登半島地震をふまえ、災害廃棄物処理体制の整備を進めます。また、「三重県循環型社会形成推進計画」の策定や、ごみ処理広域化・集約化の調査・検討に取り組みます。

#### (6) 「きれいで豊かな海」の実現と良好な生活環境の保全

従来の水質の「きれいさ」に加え、生物生産性や生物多様性にも配慮した「きれいで豊かな海」の実現に向け、さまざまな主体と連携し、総合的な施策を推進するとともに、伊勢湾流域圏で連携し、海洋ごみの発生抑制に取り組みます。また、良好な生活環境の保全に向けた取組を継続します。

## 【主な重点項目】

### (1) 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

- ① (新) 性暴力のない三重づくり推進事業 予算額 11,619千円  
〈事業実施期間：令和7年度〉

「三重県性暴力の根絶をめざす条例（仮称）」の周知啓発を行い、二次被害の防止など性暴力被害者等支援や性暴力被害防止に関する県民の皆さんの理解を促進し、性暴力のない三重県の実現に向けた気運の醸成を図ります。また、三重県の性暴力の実態を把握し、性暴力根絶の施策を効果的に推進するため、基本調査を実施します。

- ② 性犯罪・性暴力被害者支援事業 予算額 26,767千円

「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」において、引き続き電話・SNS相談、付き添い支援等に取り組むとともに、関係機関等と連携しながら被害者の心身の負担軽減と早期回復を図ります。また、認知度向上のための広報啓発を行います。

- ③ (一部新) 災害ボランティア支援等事業 予算額 10,665千円

みえ災害ボランティア支援センター(MVSC)に参画するとともに、能登半島地震で得られた気づきをふまえ、市町における災害ボランティア受入れ体制強化のための研修会の実施や、MVSCの体制強化のため、全国域で活動する災害関連のNPO等との連携強化等に取り組みます。

- ④ (一部新) 交通弱者の交通事故防止事業 予算額 1,535千円

高齢者や歩行者、自転車利用者等の交通弱者等を対象に、「横断歩道の歩行者優先」「自転車ヘルメットの着用」などをテーマとした啓発動画による広報に取り組み、交通安全意識の更なる向上を図ります。

⑤飲酒運転0（ゼロ）をめざす推進運動事業 予算額 4,192千円

「第3次三重県飲酒運転0（ゼロ）をめざす基本計画（R3～R7）」に基づき、飲酒運転の根絶に関する教育及び知識の普及・啓発や、啓発動画を活用した広報を行うとともに、次期計画の策定に向けた検討を行います。また、飲酒運転違反者に対して、アルコール依存症に関する受診義務の通知、勧告、再勧告を行うとともに、引き続き、飲酒運転とアルコール問題に関する相談窓口を運営し、再発防止に取り組みます。

⑥消費者啓発事業 予算額 18,810千円

消費者トラブルの未然防止、拡大防止に向けて、成年年齢引下げやSNSを悪用した投資勧誘等の悪質商法・定期購入等に係るトラブル対策等、消費者の関心が高いテーマを中心に、若年者や高齢者を対象とした「消費生活出前講座」等の開催や、さまざまな媒体の活用による情報提供など、各世代に応じた消費者啓発・消費者教育を実施します。また、外国人住民向け消費者講座を強化するとともに、カスタマーハラスメントの防止に向けた教育・啓発を実施します。さらには、人や社会、地域、環境に配慮した消費行動であるエシカル消費の定着を図るため、さまざまな媒体を活用して啓発をするとともに、イベント等へ出展し、エシカル商品の紹介などを行います。

⑦（一部新）相談対応強化費 予算額 35,584千円

県消費生活センターに消費生活相談員を配置するとともに、研修の受講により、その資質向上を図ることで、相談に迅速かつ的確に対応します。また、相談者の利便性向上や相談員の業務支援を図るため、Webによる相談予約など相談体制の充実（DX化）に向けた準備を進めます。

(2) 人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

① (一部新) ジェンダーギャップ解消!! HAPPY☆CYCLE事業

予算額 15,565千円

ジェンダーギャップ解消に向け、誰もが家庭でも仕事でも活躍できるよう、県内企業と連携し、企業訪問・ワークショップ等を通じて企業トップ・リーダー層の意識啓発に取り組むとともに、県内企業の好事例等をわかりやすく情報発信します。また、働く女性のキャリアデザイン等を支援するため、県内地域で女性ロールモデルとの交流会を実施します。

② 男女共同参画センター事業

予算額 13,075千円

県男女共同参画センター「フレンテみえ」において、フォーラムやセミナー等による参画・研修機会の提供や情報誌等による情報発信など男女共同参画意識の普及を図ります。また、女性のための総合相談や居場所づくりなどさまざまな悩みを持つ女性の心の負担の軽減に取り組めます。

③ (一部新) 外国人住民の安全で安心な生活への支援事業

予算額 32,825千円

「みえ外国人相談サポートセンター」(MieCo/みえこ)において、外国人住民の生活全般にわたる相談等に的確に対応するほか、災害時に外国人住民を支援するための外国人防災リーダーの育成やフォローアップ研修、実地訓練を行います。また、医療機関における医療通訳の配置を促進するため、医療通訳の育成を行います。

④ (一部新) 外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業

予算額 33,222千円

県多言語情報提供ホームページ(MieInfo)等により、行政や生活に係る情報をきめ細かく提供します。また、生活に必要な日本語の

習得を希望する外国人住民に日本語学習の機会を提供するため、市町の日本語教室開設を支援する地域日本語教育コーディネーターの育成等を行うとともに、企業による従業員への日本語学習の機会提供が進むよう、企業への啓発や支援を行います。

⑤（一部新）人権啓発事業 予算額 22,103千円

県民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会の開催やスポーツ組織との連携による啓発等を行うとともに、県民の皆さんが人権問題について考えるきっかけを作るため啓発動画作品を募集し、SNS等で発信します。また、地域の実情に応じた啓発活動を展開することができるよう、市町の取組に対する支援を行います。

⑥（一部新）人権センター管理運営費 予算額 292,092千円

人権啓発・研修等の拠点施設である県人権センターの管理運営を行います。また、老朽化に伴う施設の改修を行うとともに、常設展示室改修の基本方針に基づき、具体的な展示内容を決定します。

（3）文化と生涯学習の振興

①文化活動連携事業 予算額 18,955千円

「三重県文化振興計画」により、文化施策を総合的・計画的に推進します。また、三重県文化賞の実施や、県内各地域の文化活動等の情報を収集・発信することにより、さまざまな主体の文化活動を促進するとともに、芸術文化の特性を生かしながら地域振興等に寄与する取組を行う文化団体の活動状況を把握するための調査を実施します。

②（一部新）文化観光推進事業 予算額 34,298千円

齋宮を核とした文化観光を推進し、史跡齋宮跡を周遊していただけるよう、ツアーガイドの育成や発掘体験を行うとともに、齋宮歴史博物館の展示リニューアルに向けた展示設計や周遊に必要な史跡公園の整備計画策定のための発掘調査を行います。

- ③（一部新）総合博物館展示等事業 予算額 106,434千円  
三重の多種多様で豊かな自然や歴史・文化を紹介する企画展や化石をテーマにした企画展を開催するとともに、展示スペースを改修します。また、地域と連携して移動展示を行うとともに、資料の収集・保存に関する調査を実施します。
- ④（一部新）美術館展示等事業 予算額 111,555千円  
近現代美術を紹介する企画展や本県出身で日本文化の発展に寄与した芸術家を紹介する企画展を開催するとともに、誰もが利用しやすい美術館をめざし、障がい者等と協働で鑑賞プログラム等の開発を行います。
- ⑤（一部新）斎宮歴史博物館展示・普及事業 予算額 14,330千円  
平安時代を中心に文学や社会風俗等を紹介する企画展や特別展を開催することにより、斎王・斎宮を幅広く親しみやすい内容で紹介するとともに、講座や地域と連携した展示を行い、史跡斎宮跡の魅力発信に取り組みます。
- ⑥文化会館事業 予算額 102,305千円  
オペラ、バレエ、歌舞伎等の多彩で魅力的な文化芸術公演やアウトリーチ活動、人材育成に取り組みます。
- ⑦（一部新）図書館管理運営費 予算額 222,031千円  
図書資料の充実や電子書籍の導入とともに、市町立図書館と構築した図書館総合情報ネットワークや図書の相互貸借に係る物流ネットワークを適切に運用し、県民の皆さんにより良い図書館サービスを提供します。

⑧生涯学習センター費 予算額 10,273千円

多様化・高度化する県民の皆さんの生涯学習ニーズに応えるため、県内の高等教育機関、各種団体等との連携により、三重の歴史・文化など多様で時宜を得たテーマによる学習機会を提供するとともに、地域において生涯学習分野で活動する人々を支援するための研修会を開催します。

(4) 2050年カーボンニュートラルの実現

①(一部新)脱炭素社会推進事業 予算額 251,347千円

(823,250千円 ※R6年度2月補正予算含みベース)

国が進める「デコ活」の県内での展開と定着を図るため、ライフスタイルにおける脱炭素化への選択肢をあらゆる世代が楽しく学習できるようデジタルコンテンツを新たに提供するなど、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし方」に関する製品・サービス・情報を効果的・効率的に発信するとともに、自家消費型太陽光発電設備の導入促進など、社会実装につなげる「みえデコ活」を推進します。

②県有施設脱炭素化推進事業 予算額 285,773千円

県自らが脱炭素化に取り組むことで、社会変革を先導し、地域脱炭素社会づくりの取組を推進するため、複数施設への自家消費型再生可能エネルギーの導入やゼロカーボンドライブを同時に進めます。

③地球温暖化対策普及事業 予算額 17,674千円

「地球温暖化対策計画書制度」の対象となる温室効果ガス排出量の多い事業者に対して、脱炭素化に関する情報提供や助言などを行うことにより、自主的な取組を促進します。また、脱炭素経営に取り組む意欲のある中小企業等に対して、温室効果ガス排出量の算定や削減目標の設定支援等を行い、企業活動全体での温室効果ガス排出量の削減につなげます。

④気候変動適応事業

予算額 4,050千円

県民の皆さん、事業者、市町の気候変動適応に関する理解を深めるため、セミナーの開催等による普及啓発を行うとともに、三重県気候変動適応センターと連携し、地球温暖化による本県の気候変動やその影響に関する情報を定期的に発信します。さらに、熱中症特別警戒情報の発表時に利用する指定暑熱避難施設の周知等、関係部局や市町と連携した熱中症対策を進めます。

⑤（一部新）環境学習情報センター運営費

予算額 52,855千円

環境教育・環境学習を推進するため、県環境学習情報センターを拠点として、環境保全に関する講座やイベントの開催、指導者の育成、情報提供等を行います。さらに、環境問題への気づきを引き出し環境保全の具体的な行動を促進するため、最新の情報を反映した展示への更新や、デジタルコンテンツ等を活用した疑似体験ができる設備の新設を進めます。

⑥環境影響・公害審査事業

予算額 1,413千円

環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業等について、事業者において適切な環境配慮が行われるよう、環境影響評価の取組を促進します。また、公害事前審査や公害紛争処理に係る制度を適切に運用します。

(5) 持続可能な循環型社会の構築

①地域循環高度化促進事業

予算額 252,052千円

地域の廃棄物を資源としてとらえ、地域での一層の有効活用と資源循環の高度化を促進するため、産業廃棄物税を活用し、産業廃棄物の発生抑制、循環的な利用、地球温暖化対策等に取り組む県内事業者に対して、その経費の一部を補助します。

②（一部新）CO<sub>2</sub>削減のための高度な技術を活用したリサイクル等促進事業 予算額 27,305千円

動静脈連携によるプラスチックの資源循環を促進するため、事業者と連携し、高品質かつ効率的な回収・リサイクルの体制構築と再生材の活用に向けた調査・検討を進めます。また、将来の廃棄処理が懸念される使用済み太陽光パネルについて、効率的な回収や高度なリユース・リサイクル事業への新たな参入を促進するため、資源循環体制の実現可能性調査を実施するとともに、関連事業者と連携し効率的・安定的な仕組みの構築に向けた検討を進めます。

③（一部新）災害廃棄物適正処理促進事業 予算額 23,611千円

災害時に発生する廃棄物の迅速な処理に向け、現場対応力の向上及び大量に発生する混合廃棄物等の広域処理応援体制の強化を図るため、令和6年能登半島地震をふまえ、研修会の開催や図上演習等を実施するとともに、仮置場候補地において、設置や運営の実地訓練を実施するなど、人材の育成を進めます。

④不法投棄等の未然防止・早期発見推進事業 予算額 93,542千円

不法投棄の未然防止及び早期発見のため、遠隔操作型監視カメラやドローン等の活用により監視体制を一層充実させるとともに、不法投棄通報システム（廃棄物スマホ110番）に係る広報や事業者と連携した啓発を進めます。また、建設系廃棄物対策として、建設業者等を対象としたセミナーを開催するなど、適正処理の意識向上を図ります。

⑤環境修復後の保全管理事業 予算額 59,105千円

環境修復を行った4事案について、行政代執行で整備した工作物の点検や水質モニタリング等を実施し生活環境保全上の支障が生じていないことを確認するとともに、地元自治会等との事案地に関する協議等を通じて地域住民の安全・安心の確保に取り組めます。

⑥循環型社会形成施策推進事業

予算額 23,201千円

さまざまな主体による持続可能な循環型社会の構築に向けた取組を促進するため、動静脈連携や脱炭素化、DXの推進に関する国や県の動向、事業者の先進事例等について情報共有を図るセミナーを開催します。また、「三重県循環型社会形成推進計画（R3～R7）」について、次期計画の策定を行います。

⑦（一部新）「ごみゼロ社会」実現推進事業

予算額 171,787千円

廃棄物の「3R+R」を促進するため、市町のごみ分別アプリやSNSを活用するなど、さまざまな機会をとらえて、ごみの減量や資源循環に関する情報を発信します。また、市町等が設置する一般廃棄物処理施設の円滑な整備に向けた技術的・財政的支援を行うほか、中長期における持続可能な適正処理の確保に向けたごみ処理広域化・集約化の調査・検討を行います。

(6) 「きれいで豊かな海」の実現と良好な生活環境の保全

①「きれいで豊かな海」推進事業

予算額 17,550千円

環境基準の達成と生物生産性、生物多様性が調和・両立した「きれいで豊かな海」の実現に向け、第9次水質総量削減計画に基づき、流域下水処理場における栄養塩類管理運転の試行と効果の検証等、農林水産部、県土整備部と連携して取り組みます。また、「三重県きれいで豊かな海」協議会において、各種施策の進捗管理を行います。

②（一部新）海岸漂着物対策推進事業

予算額 92,456千円

「三重県海岸漂着物対策推進計画」に基づき、海岸漂着物の発生抑制対策及び回収・処理の取組を推進します。また、令和6年3月に策定した「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」により、三県一市等で連携して広域的な海洋ごみの発生抑制対策を実施していきます。

③大気テレメータ維持管理費 予算額 133,324千円

大気環境測定局の自動測定機器等の保守及び更新を行い、大気汚染の状況をモニタリングするとともに、濃度上昇の際は予報等の発令を行います。また、排出ガス量が多い工場の常時監視を行います。

④河川等公共用水域水質監視費 予算額 27,732千円

公共用水域等の継続的な水質監視を行うことにより、県内の河川、海域及び地下水の環境基準の達成状況や推移を把握し、その結果を水質改善のための必要な施策に反映させ、水環境の保全を図ります。

⑤浄化槽設置促進事業補助金 予算額 113,379千円

下水道と同等の処理能力を有する浄化槽や高度処理型浄化槽について、設置者に補助を行う市町や、公営事業として高度処理型浄化槽等を設置し維持管理を行う市町に対して助成を行うことにより、生活排水処理施設の整備率向上を図ります。

## 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

制定に向けて準備を進めている「三重県性暴力の根絶をめざす条例（仮称）」の周知・啓発を行い、性暴力被害者等支援及び性暴力被害防止に対する県民の皆さんの理解促進や、性暴力の根絶に向けた気運醸成を図るとともに、「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」において、引き続き、相談、付き添い支援に取り組みます。また、県民の皆さんとの連携により、交通事故の防止や消費生活の安全確保、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援、災害ボランティア受入れ体制の強化に取り組み、くらしの安全・安心を推進します。

- 1 くらし・交通安全課 くらし安全班 : 224-2664  
ダイバーシティ社会推進課 NPO班 : 222-5981
- 2 くらし・交通安全課 交通安全班 : 224-2410
- 3 くらし・交通安全課 消費生活センター班 : 224-2400

### 1 くらしの安全・安心

#### （新）性暴力のない三重づくり推進事業【11,619千円】

「三重県性暴力の根絶をめざす条例（仮称）」の周知・啓発を行い、二次被害の防止など性暴力被害者等支援及び性暴力被害防止に関する県民の皆さんの理解を促進し、性暴力のない三重県の実現に向けて気運醸成を図ります。

三重県の性暴力の実態を把握し、性暴力根絶の施策を効果的に推進するため、基本調査を実施します。

#### 性犯罪・性暴力被害者支援事業【26,767千円】

「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」において、引き続き電話・SNS相談、付き添い支援等や関係機関と連携しながら被害者の心身の負担軽減と早期回復を図ります。

認知度向上のための広報啓発を行います。



#### （一部新）災害ボランティア支援等事業【10,665千円】

市町の災害ボランティア受入れ体制を強化するため、行政、社協、NPO等の連携強化に向けた研修会やシンポジウムを開催します。また、みえ災害ボランティア支援センター（MVS C）の体制を強化するため、ワークショップの開催や、全国域で活動する災害関連のNPO等との連携強化に取り組みます。

### 2 交通事故のない社会の実現

#### （一部新）交通弱者の交通事故防止事業【1,535千円】

「横断歩道の歩行者優先」「自転車ヘルメットの着用」などをテーマとした啓発動画をコンビニや大学のデジタルサイネージ等で配信するとともに、様々な場面で動画を活用し、交通安全意識の更なる向上を図ります。

#### 飲酒運転0（ゼロ）をめざす推進運動事業【4,192千円】

飲酒運転根絶に関する動画やチラシを活用し、イベント等において啓発に取り組みます。また、飲酒運転防止の相談窓口において、違反者や家族に助言等を行うとともに、違反者にはアルコール依存症に関する受診を促します。



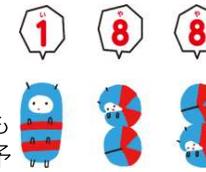
### 3 消費生活の安全確保

#### 消費者啓発事業【18,810千円】

「消費生活出前講座」の開催や「外国人住民向け消費者講座」の強化など、消費者啓発・消費者教育に取り組みます。また、カスタマーハラスメントの防止に向けた教育・啓発を実施するとともに、エシカル消費の定着を図るため、関係機関と連携して普及啓発を行います。

#### （一部新）相談対応強化費【35,584千円】

県民の皆さんからの相談に迅速かつ的確に対応するとともに、相談者の利便性向上等を図るため、Webによる相談予約など相談体制の充実（DX化）に向けた準備を進めます。



☎消費者ホットライン

## 人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

1 ダイバーシティ社会推進課 男女共同参画班：224-2225  
ダイバーシティ社会推進課 多文化共生班：222-5974  
2 人権課：224-2278

「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に基づき相談体制を充実させるとともに、人権啓発やインターネット上の人権侵害対策を講じるなど総合的な対策を推進します。

また、ジェンダーギャップを解消し、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる職場環境に向けて取り組むとともに、外国人が安心して生活できる地域社会の実現に向けて「三重県多文化共生推進計画」に基づき、相談対応や日本語学習の機会の提供を進めます。

### 1 誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

(一部新) ジェンダーギャップ解消！！HAPPY☆CYCLE事業  
【15,565千円】

性別にかかわらず、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる職場環境に向けた取組を進めます。  
企業トップ・リーダー層に向け、企業訪問・ワークショップ、企業風土の変革等に本気で取り組む熱本気(アツマジ)宣言第2弾を行います。  
企業の好事例等の情報発信、働く女性のキャリアの継続やキャリアアップに向けた女性ロールモデルとの交流会を県内地域で行います。



男女共同参画センター事業 【13,075千円】

男女共同参画意識の向上や、固定的性別役割分担にとらわれない多様な生き方が選択できる社会となるよう、普及啓発に取り組みます。  
女性のための総合相談等、心の負担の軽減に取り組みます。

(一部新) 外国人住民の安全で安心な生活への支援事業  
【32,825千円】

外国人相談サポートセンター (MieCo)において生活全般に関わる相談対応を行うほか、災害時においても外国人住民を適切にサポートするため、外国人防災リーダーの育成やフォローアップ研修、避難所での受入訓練を行います。また、医療通訳人材の育成を行い、医療機関での配置に繋がります。



避難所受入訓練の様子

(一部新) 外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業  
【33,222千円】

生活に必要な日本語の習得を希望する外国人住民に日本語学習の機会を提供するため、市町の日本語教室開設を支援する地域日本語教育コーディネーターの育成等を行うとともに、企業による従業員への日本語学習の機会提供が進むよう、企業への啓発や支援を行います。

### 2 人権が尊重される社会づくり

(一部新) 人権啓発事業 【22,103千円】

県民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、さまざまな手法による人権啓発を行うとともに、県民の皆さんが人権問題について考えるきっかけになるよう啓発動画作品を募集し、SNS等で発信します。



県人権センター  
マスコットキャラクター  
ミッコロ

(一部新) 人権センター管理運営費 【292,092千円】

県人権センターにおいて人権啓発や人権相談を実施します。また、人権についてより分かりやすく学んでもらえる常設展示室をめざし、リニューアルを検討します。併せて、展示だけでは理解が難しい日常に潜む差別について学ぶ教材の作成に着手します。



県人権センター常設展示室

# 文化と生涯学習の振興

文化振興課：224-2176

「三重県文化振興計画」に基づき、文化の力で心豊かに活力ある三重の実現に向け、着実に施策を推進します。また、県総合博物館（MieMu）、県立美術館、斎宮歴史博物館や県総合文化センターでは、子どもから大人まで楽しめる企画展等を開催するとともに、県立図書館では電子書籍を導入するなど、県民の皆さんにより良い図書館サービスを提供します。

## 1 文化振興施策の推進

文化活動連携事業 【18,955千円】

三重県文化賞の実施や県内各地域の文化活動等の情報を収集・発信することにより、さまざまな主体の文化活動を促進します。

芸術文化の特性を生かしながら地域振興等に寄与する取組を行う文化団体の活動状況を把握するための調査を実施します。

## 2 史跡斎宮跡の周遊促進に向けた取組

（一部新）文化観光推進事業  
【34,298千円】

斎宮を核とした文化観光を推進し、史跡斎宮跡を周遊していただけるよう取組を進めます。

- ・斎宮歴史博物館の展示リニューアルに向けた展示設計
- ・文化観光ツアーガイドの育成、発掘体験
- ・史跡公園の整備計画策定のための発掘調査



展示リニューアル



ツアーガイドの育成

## 3 県立文化施設の主な企画展等（展示会の名称は仮称）

（一部新）総合博物館展示等事業  
【106,434千円】

『地獄 鬼と亡者と閻魔の世界』『発掘された日本列島』や化石をテーマにした企画展等、子どもから大人まで楽しめる企画展を開催します。



閻魔王像 亀山市龍洲寺蔵

（一部新）斎宮歴史博物館展示・普及事業  
【14,330千円】

『斎王のよそおい～姫君たちのファッション～』等、斎宮の魅力を伝える展示を行うとともに、国史跡斎宮跡発掘55周年のパネル展示や基調講演を開催します。



発掘調査（昭和45年～）

（一部新）図書館管理運営費  
【222,031千円】

電子書籍を導入するとともに、市町立図書館とのネットワークを活用し、県民の皆さんに図書館サービスを提供します。



（一部新）美術館展示等事業  
【111,555千円】

『フランス近代宗教と脱宗教（ライシテ）』『ポップアート時代を変えた4人』『没後90年 橋本平八展』等の企画展を行うとともに、障がい者等と協働で鑑賞プログラムの開発を行います。



ミレー《無原罪の聖母》

文化会館事業 【102,305千円】

東欧の名門「ポーランド国立放送交響楽団」と共にピアニスト角野隼人さんが登場するなど、多彩で魅力的な文化芸術公演を開催します。



角野隼人さん

生涯学習センター費 【10,273千円】

ピラミッド研究で著名な河江肖剰さんや俳優の中江有里さんにお話しいただくなど、学びにつながる事業を展開していきます。



中江有里さん

# 2050年カーボンニュートラルの実現

地球温暖化対策課：224-2368

カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る取組の展開やその定着を図る「みえデコ活」等の気候変動の緩和、市町と連携した熱中症対策等の気候変動適応の取組を進めます。また、県環境学習情報センターの展示設備のリニューアルを進めるなど環境教育・環境学習を推進するとともに、再生可能エネルギーの導入等が環境に配慮して行われるよう環境影響評価制度を適切に運用し、さまざまな主体による環境配慮の取組を促進します。

## 1 気候変動の緩和の取組

（一部新）脱炭素社会推進事業  
【251,347千円】

- ・【新】楽しく学習できるデジタルコンテンツの新たな提供などの「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし方」に関する製品・サービス・情報を効果的・効率的に発信
- ・自家消費型太陽光発電設備の導入促進など

太陽光発電設備等設置費補助  
太陽光発電設備等共同購入  
県内産再エネの利用促進



県有施設脱炭素化推進事業  
【285,773千円】

- ・県自らが脱炭素化に取り組むことで社会変革を先導  
複数施設への  
自家消費型再生可能エネルギー  
ゼロカーボンドライブの導入



三重県伊賀庁舎（令和5年度導入済み）

地球温暖化対策普及事業  
【17,674千円】

- ・多量排出事業者への脱炭素化に関する情報提供や助言などにより自主的な取組を促進
- ・脱炭素経営に取り組む意欲のある中小企業等への削減目標設定等の支援



## 2 気候変動適応の取組

気候変動適応事業  
【4,050千円】

- ・気候変動適応に関する理解を深めるためセミナーの開催等の普及啓発、県気候変動適応センターと連携した情報発信
- ・関係部局や市町と連携した熱中症対策の促進



## 3 環境配慮取組・行動

（一部新）環境学習情報センター運営費  
【52,855千円】

- ・環境教育・環境学習を推進するため、県環境学習情報センターを拠点とした環境講座やイベントの開催、指導者の育成等
- ・【新】展示設備のリニューアル  
最新の情報を反映した展示  
デジタルコンテンツ等を活用した疑似体験



環境影響・公害審査事業  
【1,413千円】

- ・事業者において適切な環境配慮が行われるよう、環境影響評価の取組を促進
- ・公害事前審査や公害紛争処理に係る制度を適切に運用

## 総合計画の推進

- ・三重県地球温暖化対策総合計画推進委員会  
「三重県地球温暖化対策総合計画」の県の施策や取組等の進捗状況の評価等
- ・三重県脱炭素社会推進本部  
各部局等の脱炭素社会の実現に向けた取組を総合的に推進

# 持続可能な循環型社会の構築

1, 2, 4 資源循環推進課 : 224-3310  
 3 廃棄物対策課 : 224-2483  
 3 廃棄物監視・指導課 : 224-2388

持続可能な循環型社会の構築に向け、市町、事業者、NPO等のさまざまな主体とのパートナーシップを強化し、新たな知見や技術を積極的に活用することにより、廃棄物処理の安全・安心の確保を前提としつつ、循環関連産業の振興を通じ、脱炭素化や地域課題の解決にもつながる資源循環の取組を促進するとともに、令和6年能登半島地震をふまえ、災害廃棄物処理体制の整備を進めます。また、「三重県循環型社会形成推進計画」の策定や、ごみ処理広域化・集約化の調査・検討に取り組みます。

## 1 資源循環の促進

地域循環高度化促進事業【252,052千円】

- 産業廃棄物の発生抑制、循環的利用、減量化に加え、地球温暖化対策に資する事業者による設備導入等に対して、その経費の一部を補助



プラスチック高度選別設備



不要となった食品



メタン発酵



飼料化

(一部新) CO<sub>2</sub>削減のための高度な技術を活用したリサイクル等促進事業【27,305千円】

- 【新】プラスチックの資源循環を促進するため、地域での回収・利用に向けた体制構築及び再生材の活用に向けた調査・検討を実施
- 使用済み太陽光パネルの資源循環体制構築に向けた実現可能性調査を実施



## 2 災害廃棄物処理体制の整備

(一部新) 災害廃棄物適正処理促進事業【23,611千円】

- 【新】南海トラフ地震を想定した発災直後から仮置場設置までの図上演習、及び演習内容をふまえた仮置場候補地における設置・運営の実施訓練



## 3 廃棄物処理の安全・安心の確保

不法投棄等の未然防止・早期発見推進事業【93,542千円】

- 監視カメラ、ドローン、不法投棄通報システムなど、ICTを活用した効率的・効果的な監視・指導の実施
- 建設業者等を対象としたセミナーの開催



スマホ110番

環境修復後の保安全管理事業【59,105千円】

- 地域住民の安全・安心を確保するため、行政代執行で整備した工作物の点検や水質モニタリング等を実施し、生活環境保全上の支障が生じていないことを確認

桑名市五反田事案 四日市市大矢知・平津事案  
 桑名市源十郎新田事案 四日市市内山事案

## 4 計画の策定

循環型社会形成施策推進事業【20,187千円】※

- 「循環経済への移行」を見据え、産業振興による資源の効率的な利用促進や社会情勢の変化をふまえた次期「三重県循環型社会形成推進計画」を策定 ※うち計画策定分

(一部新) 「ごみゼロ社会」実現推進事業【20,900千円】※

- 【新】中長期における一般廃棄物の持続可能な適正処理の確保に向けた市町のごみ処理広域化・集約化の調査・検討 ※うち計画策定分

# 「きれいで豊かな海」の実現と良好な生活環境の保全

大気・水環境課：224-2380

従来の水質の「きれいさ」に加え、生物生産性や生物多様性にも配慮した「きれいで豊かな海」の実現に向け、さまざまな主体と連携し、総合的な施策を推進するとともに、伊勢湾流域圏で連携し、海洋ごみの発生抑制に取り組みます。また、良好な生活環境の保全に向けた取組を継続します。

## 1 「きれいで豊かな海」の実現と「海洋ごみ対策」の推進

### 「きれいで豊かな海」推進事業【17,550千円】

環境基準の達成と生物生産性、生物多様性が調和・両立した「きれいで豊かな海」の実現に向け、第9次水質総量削減計画に基づき、農林水産部、県土整備部と連携して取り組みます。また、「三重県きれいで豊かな海」協議会において、各種施策の推進と進捗管理を行います。

#### 【主な取組】

- ・ 下水処理場の栄養塩類管理運転の試行
- ・ 藻場、干潟及び浅場の保全・再生等の推進
- ・ 各種取組の効果検証と施策へのフィードバック



藻場（アマモ場）

### （一部新）海岸漂着物対策推進事業【92,456千円】

「三重県海岸漂着物対策推進計画」に基づき、海岸漂着物の回収・処理及び発生抑制対策の取組を推進します。さらに、令和6年3月に策定した「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」に基づき、実態把握調査や県民による一斉清掃を実施し、三県一市で連携した広域的な海洋ごみの発生抑制対策を推進します。

#### 【主な取組】

- ・ 海洋ごみの実態把握調査
- ・ 市町等が実施する海洋ごみ等の回収・処理の支援
- ・ 流域圏の県民等が実施する清掃活動の情報発信と交流会の開催
- ・ 啓発動画やSNS等を活用した普及啓発活動



海洋ごみの実態把握調査



清掃活動の推進



啓発動画による普及啓発

## 2 生活環境の保全

### 大気テレメータ維持管理費【133,324千円】

大気汚染の状況をモニタリングすることにより、環境基準の達成状況を把握し、光化学オキシダントやPM2.5の濃度が上昇した際は予報等の発令を行います。また、排出ガス量が多い工場の常時監視を行います。

### 河川等公共用水域水質監視費【27,732千円】

公共用水域等の継続的な水質監視を行うことにより、県内の河川、海域及び地下水の環境基準の達成状況や推移を把握し、その結果を水質改善のための必要な施策に反映させるとともに、監視項目や測定頻度等についても検討を行います。

### 浄化槽設置促進事業補助金【113,379千円】

浄化槽設置者に設置補助を行う市町や、公営事業として高度処理型浄化槽等を設置し維持管理を行う市町に対して、助成を行うことにより、生活排水処理施設の整備率向上を図ります。

## 【その他の主要事業】

### 事業の内容

《政策名：暮らしの安全》

〈施策名：（3-1）犯罪に強いまちづくり〉

1 安全安心まちづくり事業 453千円

（29, 453千円 ※R6年度2月補正予算含みベース）

【（3-1-1） みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費）

「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム（第3弾）」に基づき、県民の皆さんや事業者等さまざまな主体と協働しながら、安全・安心まちづくり地域リーダー養成講座や安全・安心まちづくりフォーラムを開催するなど、犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり実現に向けた取組を進めます。また、県民の皆さんの体感治安向上に向け、防犯活動の「見える化」に取り組みます。

2 （一部新）犯罪被害者等支援事業 7, 224千円

【（3-1-4） 犯罪被害者等支援の充実】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費）

「三重県犯罪被害者等支援推進計画（第二期）」に基づき、三重県犯罪被害者等見舞金を給付するなど、犯罪被害者等に寄り添った各種支援施策を推進するとともに、関係機関・団体が相互に連携する総合的な支援体制を強化します。また、犯罪被害者等が二次被害を受けないよう、県民の皆さんの理解促進を図ります。

〈施策名：（3-2）交通安全対策の推進〉

1 交通安全企画調整費 632千円

【（3-2-1） 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費）

「第11次三重県交通安全計画（R3～R7）」に基づき、市町や関係機関・団体と連携を図りながら交通安全対策を推進するとともに、次期計画の策定に向けた検討を行います。

2 交通安全運動推進事業 6, 278千円

【（3-2-1） 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費）

関係機関・団体と連携して、四季の交通安全運動等における年間を通じた交通安全啓発活動（交通安全イベントの開催、ラジオによる広報等）を展開し、交通事故防止の徹底に向けた取組を推進するとともに、交通安全意識の向上に向け検討する場を設置し、議論を進めます。

## 事業の内容

3 交通安全研修センター管理運営費 46,805千円

【(3-2-1) 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進】  
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費)

県交通安全研修センターにおいて、交通安全教育機器を活用し、幼児から高齢者まで幅広い県民の皆さんを対象にした参加・体験・実践型の交通安全教育を実施するとともに、地域や職域で活動する交通安全教育指導者の養成・資質向上を図ります。また、令和8年度からの指定管理者の選定を行います。

〈施策名：(3-3) 消費生活の安全確保〉

1 消費者行政推進事業 15,464千円

【(3-3-1) 自主的かつ合理的な消費活動への支援】  
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 7 消費生活事業費)

県、市町の相談員等を対象とした研修会を開催し、消費生活相談員の資質向上を図るとともに、弁護士等の活用により県・市町の消費生活センター等の専門性を確保し、県全体の相談対応能力の向上を図ります。また、消費者啓発地域リーダーの新規養成やフォローアップを実施し、地域における啓発活動や見守り活動を促進するとともに、国交付金の活用等により市町における消費者行政の推進を支援します。

2 事業者指導事業 8,123千円

【(3-3-2) 消費者被害の救済、適正な取引の確保】  
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 7 消費生活事業費)

適正な商取引、商品表示等が行われるよう、不当商取引指導専門員を配置し、事業者に対して監視・指導を行うとともに、広域的に活動する悪質な事業者に対しては、国、近隣県等関係機関と連携し、実効性のある事業者指導を行います。また、事業者面談や事前相談を通じて、適正な商取引や商品等の表示に向けた事業者の自主的な取組を支援します。

〈政策名：環境〉

〈施策名：(4-1) 脱炭素社会の実現〉

1 環境行動促進事業 7,117千円

【(4-1-3) 環境教育・環境学習の推進】  
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 1 環境総務費)

三重県地球温暖化防止活動推進センターを拠点とした地球温暖化防止活動推進員による活動を支援します。また、学校や企業と連携した啓発活動、県民の皆さん一人ひとりの環境に配慮した行動変容を促すための取組を通じて、温室効果ガスの排出削減等に取り組めます。

## 事業の内容

〈施策名：（4-2）循環型社会の構築〉

1 産業廃棄物適正処理推進事業 103,494千円

【（4-2-3） 廃棄物処理の安全・安心の確保】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費）

産業廃棄物の適正処理を推進し、廃棄物処理に対する県民の皆さんの安全・安心を確保するため、産業廃棄物処理業等に係る許可申請等の厳正な審査を行うなど法令等に基づいた確かな運用を図ります。また、県内の排出事業者及び処理業者を対象に優良産廃処理業者認定制度等に関する研修を実施し、産業廃棄物の適正処理の担い手となる人材の育成に取り組みます。

2 プラスチック対策等推進事業 13,382千円

【（4-2-4） 廃棄物政策を通じた社会的課題の解決】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費）

プラスチックの資源循環を促進するため、事業者の自主的な取組や事業者間の連携拡大に取り組みます。また、海洋プラスチックごみ対策として、ごみ拾いSNSアプリを活用したごみ拾い活動の見える化など、楽しみながらできる取組を通じて散乱ごみ対策を進めます。

3 食品ロス削減推進事業 17,622千円

【（4-2-4） 廃棄物政策を通じた社会的課題の解決】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費）

まだ食べられる食品の活用により生活困窮者等を支援する三重県食品提供システム「みえ〜る」を引き続き運用するとともに、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、飲食店等と連携して、売れ残りや食べ残しによる食品ロスの削減に向けた普及啓発を進めます。

〈施策名：（4-4）生活環境の保全〉

1 （一部新）工場・事業場大気規制費 12,527千円

【（4-4-1） 大気・水環境等の保全】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費）

「大気汚染防止法」等の規制対象工場に立入検査を行い、施設の適正な維持管理を指導するとともに、有害大気汚染物質の県内の状況を把握するため、調査等を実施します。また、引き続き「三重県生活環境の保全に関する条例」に係る規制のあり方について検討を進めます。

2 土砂条例施行費 7,759千円

【（4-4-1） 大気・水環境等の保全】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費）

「三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例」に基づき厳正に審査するとともに、不適切な土砂等の埋め立て等が行われないよう必要な指導等を行います。

## 事業の内容

- 3 (一部新) 地盤沈下対策費 17,268千円  
 【(4-4-1) 大気・水環境等の保全】  
 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
 北勢地域の地盤沈下対策として、揚水規制や関係機関と連携した地盤沈下量の計測、地下水位のモニタリングを継続します。また、地下水位監視システムが老朽化していることから、より効率的なシステムに更新します。
- 4 (新) 盛土規制法事業 1,280千円  
 【(4-4-1) 大気・水環境等の保全】  
 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
 盛土規制法に基づき令和7年度中に指定される規制区域における盛土等について、法に基づく許可事務等(県土整備部及び農林水産部に係るものを除く。)を行い、災害の発生の未然防止を図ります。
- 5 (一部新) 生活排水総合対策指導事業 13,797千円  
 【(4-4-2) 生活排水処理施設の整備促進】  
 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
 生活排水の総合的な推進のため、「生活排水処理アクションプログラム(三重県生活排水処理施設整備計画)」に基づき、関係部局が連携し、進行管理を行います。また、人口減少など社会情勢が著しく変化していることから、「生活排水処理アクションプログラム」の内容を点検し、必要に応じて見直しを行います。

《政策名：交通・暮らしの基盤》

〈施策名：(11-4) 水の安定供給と土地の適正な利用〉

- 1 水道事業等指導事業 35,282千円  
 【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】  
 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
 県民の皆さんに対し、安心して飲める水が安定的に供給されるよう、水道の施設整備や事業経営および施設の維持管理についての指導監督を行います。また、県内の水道事業が将来にわたり経営環境を維持していけるよう、水道広域化シミュレーション結果の市町との共有や、研修の共同開催など、水道基盤強化の取組を進めます。
- 2 水道事業会計支出金 1,238,196千円  
 【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】  
 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)  
 北部広域圏広域的水道整備計画に基づく水道広域化施設の整備等に対し、一般会計から水道事業会計に出資・補助を行い、地方公営企業の経営健全化を促進し、その経営基盤の強化を図ります。

## 事業の内容

《政策名：人権・ダイバーシティ》

〈施策名：(12-1) 人権が尊重される社会づくり〉

- 1 人権施策総合推進事業 1, 871千円  
【(12-1-1) 人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】  
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)  
人権が尊重される社会を実現していくため、「第五次人権が尊重される三重をつくる行動プラン」に基づき、人権施策を進めます。また、地域の団体等が開催する研修会等へ講師を派遣するとともに、人権問題解決に向け先進的に取り組んでいる団体とつなぐことで人権が尊重されるまちづくりの取組を促進します。
- 2 隣保館運営費等補助金 249, 239千円  
【(12-1-1) 人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】  
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)  
市町が設置する隣保館において、相談事業、啓発及び広報活動、地域交流等の隣保事業が推進されるよう支援します。
- 3 同和問題等啓発事業 10, 625千円  
【(12-1-1) 人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】  
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)  
部落差別(同和問題)をはじめとする人権課題について県民の皆さんの理解と認識を深め差別のない社会を実現するため、マスメディアの活用やポスター等、さまざまな手法による啓発を実施します。
- 4 インターネット人権モニター事業 2, 002千円  
【(12-1-3) 人権擁護の推進】  
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)  
インターネット上の差別的な書込みを早期に発見し、削除要請を行うとともに、差別事象の分析を行います。また、市町等に対しモニタリング説明会を実施するとともに、差別的な書込みなどの未然防止に向け啓発に取り組みます。
- 5 人権相談、調査・研究事業 11, 175千円  
【(12-1-3) 人権擁護の推進】  
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)  
県人権センターにおいて関係機関と連携しながら、人権に係るさまざまな相談に対応するとともに、弁護士による専門的な相談(法律相談)を実施します。また、SNSによる人権相談窓口を設置します。

## 事業の内容

6 差別解消条例推進事業 2, 881千円

【(12-1-3) 人権擁護の推進】

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)

人権問題を円滑かつ適切に解決するため、引き続き、県人権センターにアドバイザーを配置し、相談員のさらなる資質向上、人材育成を図ります。また、不当な差別に係る紛争解決のため、「三重県差別解消調整委員会」を運営します。

〈施策名：(12-2) ダイバーシティと女性活躍の推進〉

1 男女共同参画連絡調整事業 2, 081千円

【(12-2-1) 男女共同参画の推進】

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費)

「第3次三重県男女共同参画基本計画」に基づき、三重県男女共同参画審議会により県の男女共同参画や性の多様性に関する施策の評価等を行いながら、男女共同参画社会の実現に向け着実に取組を進めます。また、「第3次三重県男女共同参画基本計画」に基づく実施計画の改定を行います。

2 性の多様性を認め合う社会推進事業 7, 262千円

【(12-2-4) ダイバーシティ・性の多様性を認め合う環境づくり】

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費)

県民の皆さんを対象としたイベントや企業向け研修など、性の多様性に関する理解促進を図るとともに、性の多様性に関する相談窓口の運営や当事者等の交流会の開催、パートナーシップ宣誓制度利用先の拡充に取り組みます。

〈施策名：(12-3) 多文化共生の推進〉

1 多文化共生がもつ力の活用事業 5, 656千円

【(12-3-1) 多文化共生社会づくりへの参画促進】

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 6 国際化対応費)

多文化共生社会づくり施策を推進するため、有識者や外国人住民、外国人支援団体、経済団体等と意見交換を行います。また、外国人との共生に係る啓発月間(1月)に多文化共生意識の醸成に向けた「三重県多文化共生シンポジウム」等を開催します。

〈政策名：教育〉

〈施策名：(14-5) 誰もが安心して学べる教育の推進〉

1 私立学校不登校児童生徒支援事業 540千円

【(14-5-1) 不登校の状況にある児童生徒への支援】

(第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費)

不登校児童生徒の学びの機会確保のため、フリースクールを利用する私立学校の児童生徒等への経済的な支援を行います。

## 事業の内容

〈施策名：（14-6）学びを支える教育環境の整備〉

- 1 私立高等学校等振興補助金 5, 206, 452千円  
【（14-6-5）私学教育の振興】

（第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費）

公教育の一翼を担う私立学校（小学校・中学校・中等教育学校・高等学校）において、建学の精神に基づく個性豊かで多様な教育が推進されるよう経常的経費への助成を行います。

〈政策名：子ども〉

〈施策名：（15-1）子どもが豊かに育つ環境づくり〉

- 1 私立高等学校等就学支援金交付事業 3, 011, 800千円  
【（15-1-3）子どもの貧困対策の推進】

（第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費）

私立学校に通う子どもたちが安心して学べるよう、就学支援金等の支給を行うことにより、保護者等の経済的負担の軽減を図ります。

- 2 私立高等学校等教育費負担軽減事業 251, 103千円  
（252, 427千円 ※R6年度2月補正予算含みベース）  
【（15-1-3）子どもの貧困対策の推進】

（第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費）

私立学校に通う子どもたちが安心して学べるよう、授業料減免を行った学校法人に対する助成や奨学給付金の支給等を行うことにより、保護者等の経済的負担の軽減を図ります。

〈行政運営〉

〈行政運営名：（1）総合計画の推進〉

- 1 みえ県民交流センター指定管理事業 26, 483千円  
【（20-1-5）県民の社会参画の促進】

（第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費）

NPOが、多様化、複雑化する地域の諸課題に対応できるよう、みえ県民交流センターを拠点に情報発信やセミナー等を開催するとともに、社会課題の解決に取り組むNPOやそれを支援する中間支援組織の基盤強化の支援に取り組みます。